

FT-8運用に必要なソフトの紹介と設定

2022年1月9日
JH1RCA

FT-8運用に必要な7つのソフト紹介

区分	ソフトウェア名称	目的	備考
必須	<ul style="list-style-type: none"> •WSJT-X •JTDX (スライド3に差異整理)	デジタル信号の変調及び復調を行う。	<ul style="list-style-type: none"> •2つの著名なソフトがある。先輩から教えてもらいやすいソフトの使用が良いだろう。 •本資料は主にWSJT-X Version2.2.0日本語版で説明を行っている。
	桜時計 (インターネット時計)	正確な時間合わせは時間と周波数の同期を図ること、送受信のタイミングを図る上で重要になる。誤差1秒以内の時間差にしないとイケない。誤差が通信の成否に関わる。	<ul style="list-style-type: none"> •管理者権限でソフトを起動して常駐させて使用する。 •桜時計はインターネットでサーバーに接続する時計だがより精度を求めGPSを利用している人もいる。
便利	JT Linker	交信が成立した際に必要事項をログソフトに送ることが出来る。	転送内容は交信日時、コールサイン、グリッドロケート、S/N比。
	Turbo HAMLOG	交信の記録	JTLinker経由でWSJT-Xのデータの読み込みをすることが出来る。
	JT Alart	画面・音声による各種通知	•不自然な日本語。英語が良いかな。
	eQSL	電子QSLカード送受信	•紙発行の手間省略
	PSKreporter	交信可能なエリアがビジュアル的に確認出来る。	各国間での交信状況、自局の電波到達エリア確認。

WSJT-XとJTDXダウンロードサイト・解説

WSJT-Xはこちら [WSJT Home Page \(princeton.edu\)](http://www.princeton.edu/~njd43/WSJT-X/)

下線の上で右クリック
ハイパーリンク開く、サイトへ飛ぶ。

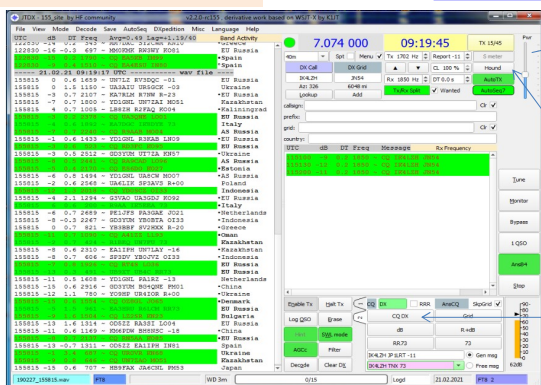
- ①最新版ダウンロード(英語版)
- ②解説(日本語もあるが最新版にはタイムラグ有)
- ③DX peditionモードの解説あり

日本語解説はこちらパワポの資料

[PowerPoint プレゼンテーション \(ja5bga.com\)](#)

JTDXはJTDX HOMEから

大野OMからの情報によると最新版はSWRもモニター上表示される。この機能はありがたい。



Fox(キツネ)を追う時はHound(猟犬)になる。F/HとFT8のオペレーターは表現する。

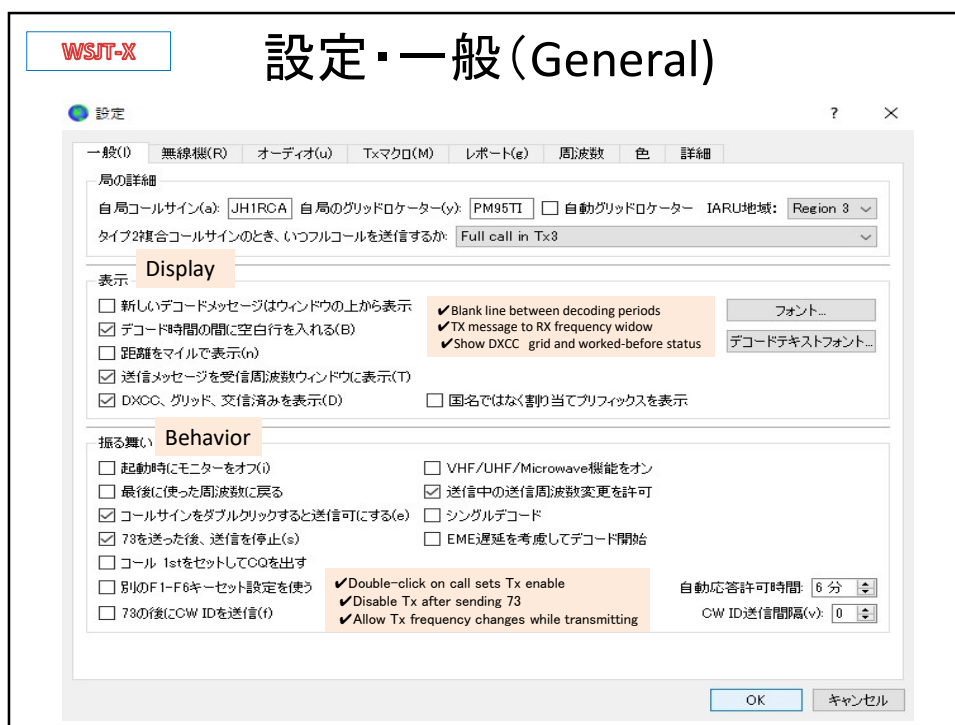
CQが出せるWSJT-XだとどうCQの出し方が分からない。

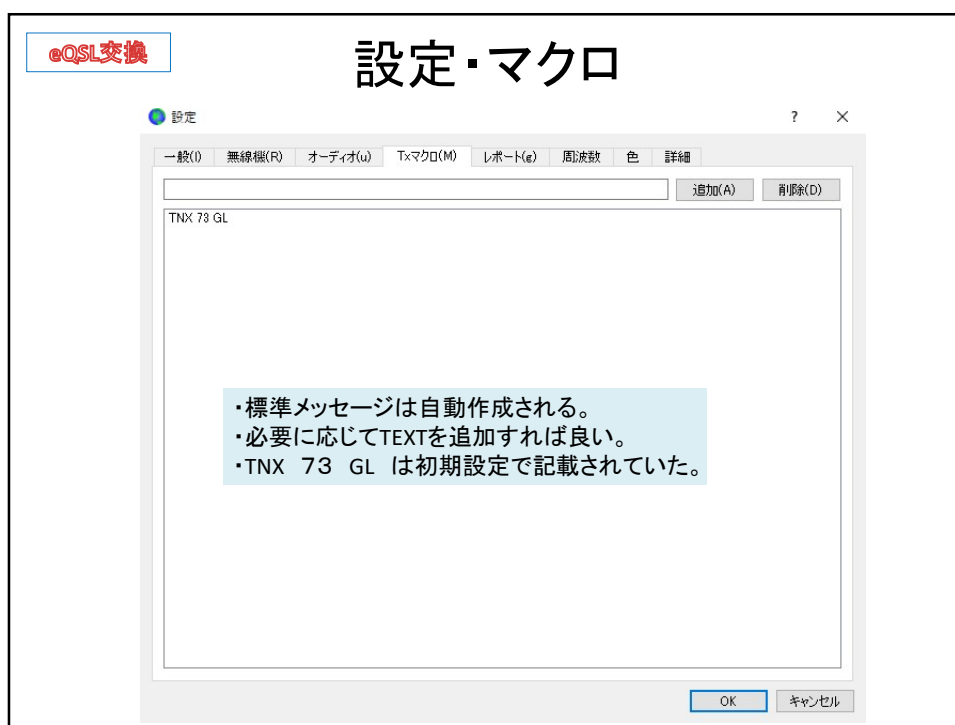
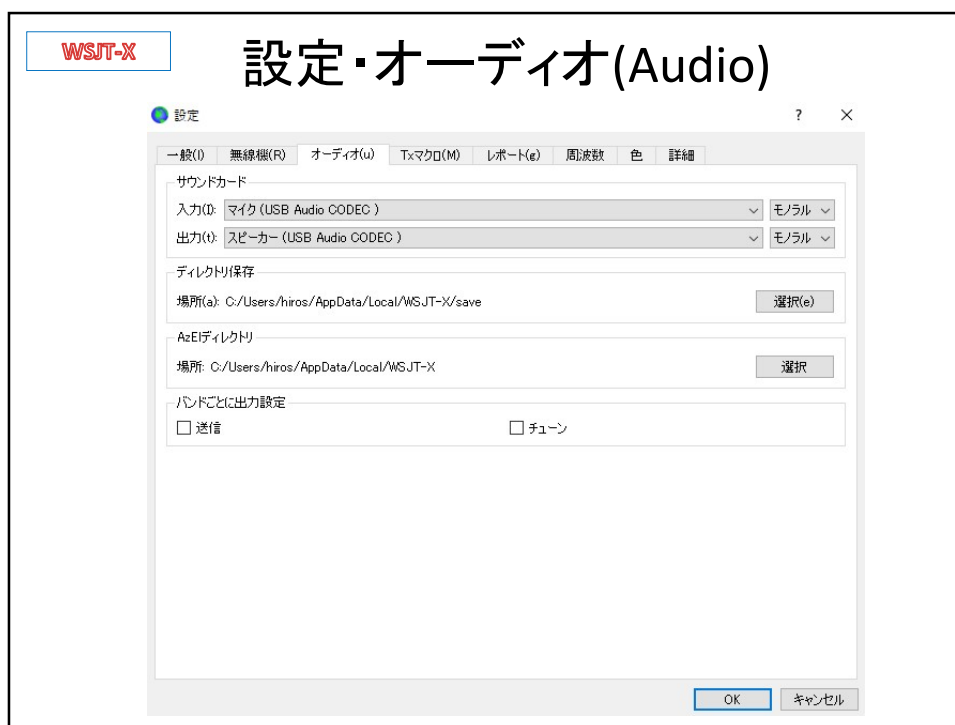
JTDXはHound(DX peditionを追うモード)、CQを出すモードが簡単に切替が出来る。SWRの監視も出来る。JTDXの方がWSJT-Xより分かりやすく便利そうな印象だ。

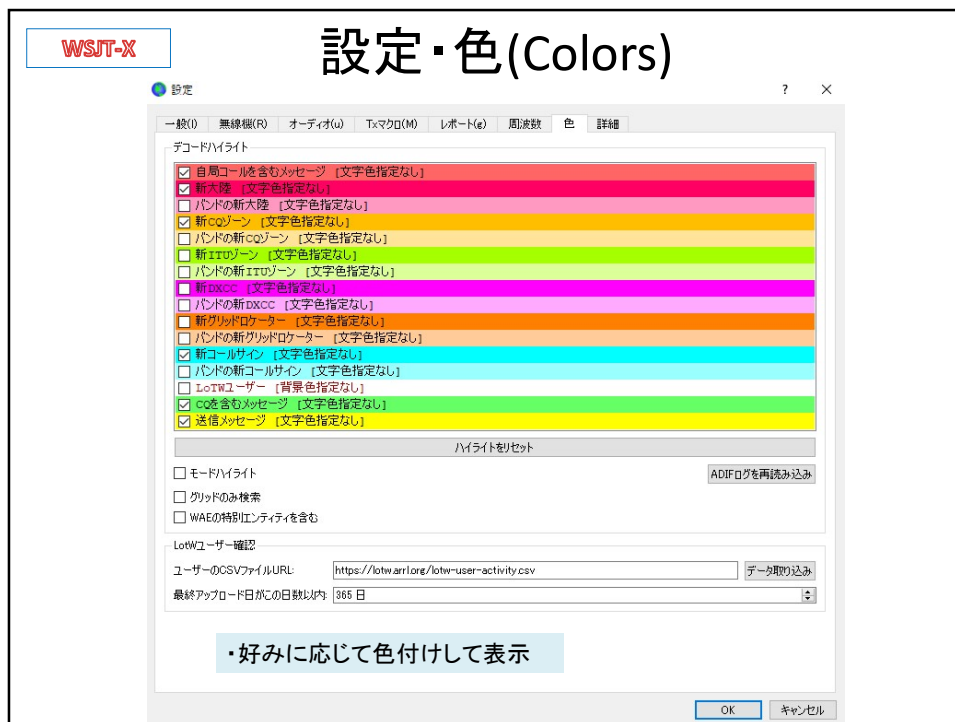
7つのソフトの設定法

どのソフトもサイトに簡単に行きつけ、ダウンロードとインストール自体は難易度は高くない。重要なソフトの設定は詳細を整理し、その他ソフトは難儀したポイントをまとめた。

区分	ソフトウェア名称	設定のポイント
必須	WSJT-X	・本資料WSJT-Xの項に詳細記載。
	桜時計 (インターネット時計)	・時間を同期するためNTPサーバー ntp.nict.jp等を指定する。 ・管理者権限で起動、常駐必要。詳細は別紙資料“FT8運用の実際”に記載する。
便利	JT Linker	・コールサイン、グリッドロケーターの入力 例 コールサインJH1RCA グリッドロケーターPM95 ・WSJT-Xのファイルと保管場所の位置を指定する 例 設定ファイル WSJT_X_log.adi 保管場所 C:¥hiro¥App Data¥Local¥WSJT_X
	JTAlert for WSJT-X	・WSJT-XでUDPポートの有効化 ・音声ファイルの言語のダウンロードと話すシーンの選択
	Turbo HAMLOG	・常法通り ・定期的更新(要コールサイン、パスワード)
	eQSL	・サイトにログイン ・本資料eQSLに使い方記載
	PSKreporter	・特にインストールソフトはない。サイトにアクセスすれば使える。







WSJT-X FT-8 通常モードとDXpeditionモード設定変更点

通常モード

設定
無線機
スプリット

DXpeditionモード

設定
詳細
特別な運用

eQSL交換 eQSL.ccサイトにLogin

FT-8はQSO数が多くなり紙のカード発行が面倒で・・・

- eQSL立ち上げ
 - ブラウザにeQSLを入力検索してサイトにlogin
 - login
ログインの際はID JH1RCA, PW を入力する。(2回目以降省略可能)

Login画面

メニュー画面

eQSL交換 届いたカード確認

- ①メインメニューからInBOXをクリックする
- ②検索
 - ・バンド ・モード ・年月日 ・カントリー (検索)
- ③表示
 - アンダーラインの引かれた項目クリックされると表示される。

Call	Mode	Date	Time	Band	Country	QSO
44447	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44448	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44449	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44450	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44451	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44452	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44453	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44454	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44455	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44456	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44457	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44458	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44459	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44460	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44461	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44462	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44463	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44464	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44465	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44466	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44467	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44468	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44469	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44470	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44471	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44472	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44473	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44474	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44475	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44476	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44477	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44478	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44479	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44480	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44481	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44482	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44483	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44484	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44485	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44486	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44487	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44488	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44489	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44490	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44491	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44492	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44493	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44494	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44495	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44496	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44497	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44498	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44499	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1
44500	SSB	23Jan2021	11:16	40M FT8	CHINA	1

一覧表から選択して拡大表示

eQSL交換 カードの発行

- (1) アップロード用データADIFファイル作成 (Turbo HamLogでの作業)
 - ①Turbo HamLog立ち上げる
 - ②ADIFファイル作成 (必要なアップロード用データの抽出とファイル作成)
 - ・検索から複合条件検索と印刷をクリック
 - ・先頭からの検索✓
 - ・入力順✓
 - ・ADIFファイル 全角を除く✓
 - ・カードを発行するレコードを決める 例 508-511
 - ・検索なしをクリック→検索せず出力しますか→はい→ADIFファイル作成される (C#HamLog¥LogList.adi)
- (2) カード発行 (ADIFファイルアップロード)
 - ・eQSLのサイトにloginする
 - ・login後初期画面からUpload ADIFをクリック
 - ・ファイル選択
 - ・C#HamLogList.adi選択
 - ・Uploadをクリック (step#1 -upload-Finished!等が表示される。確認はアップロード後inboxやupload ADIFから行える。

No.	Call	Date	Time	Mode	Band	Country	QSO
500	500	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
501	501	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
502	502	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
503	503	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
504	504	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
505	505	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
506	506	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
507	507	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
508	508	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
509	509	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
510	510	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
511	511	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
512	512	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
513	513	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
514	514	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
515	515	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
516	516	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
517	517	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
518	518	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
519	519	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
520	520	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
521	521	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
522	522	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
523	523	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
524	524	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
525	525	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
526	526	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
527	527	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
528	528	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
529	529	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
530	530	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
531	531	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
532	532	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
533	533	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
534	534	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
535	535	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
536	536	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
537	537	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
538	538	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
539	539	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
540	540	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
541	541	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
542	542	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
543	543	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
544	544	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
545	545	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
546	546	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
547	547	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
548	548	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
549	549	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711
550	550	20/04/21	13:18:11	SSB	50M	J	711

カード提出用ファイル作成 → eQSLにデータアップロード

eQSL交換

カードのデザイン

- ・メニュー画面からeQSL Design をクリック
- ・スタイル1、2は無料、画像は決められたものを使用する。
- ・スタイル3、4は有料
- ・ブロンズ以上会員で自分の撮影した写真が使用出来る。
ブロンズ会員で1USD/月



Yokohama Garden Necklace
赤レンガ倉庫で撮影
FBで一番いいねもらった写真を
eQSLに採用。

本資料のまとめと次の資料について

- ・ FT-8を運用するのに便利なソフトが沢山あると諸先輩に教えてもらっていた。しかし、当初は沢山のソフトをインストールし、使うのが面倒だと思っていた。WSJT-Xと桜時計があればFT-8は出来る。しかしログをつけ、QSLカードを発行するのは面倒だ。ソフトにしゃべらせてみるのも何かと便利である。運用してみたら紹介されたソフトを全部使っていた。FT-8運用に7つのソフトが不可欠な存在となったのである。
- ・ “1.FT-8運用のための準備作業”の資料で無線機とパソコンの環境・接続が整い免許も下りたと思う。本資料“2.FT8に必要なソフトと設定”でソフトもインストールされ使える状態になったはずである。次はいよいよ運用になる。次の資料“3.FT-8運用の実際”に従って操作してもらえれば運用が出来るようになる。後一步である。